

都立墨東病院における 10 年間で診断された *Listeria monocytogenes* 感染症 9 例について

¹東京都立墨東病院 感染症科

○岩淵 千太郎¹、阪本 直也¹、大西 健児¹

【目的】*Listeria monocytogenes* は食中毒、髄膜炎、菌血症の原因微生物として知られている。特に高齢者、妊婦、新生児がハイリスク群であり、感染した場合に重症化しやすいことが知られている。当院での 10 年間で検出された *Listeria monocytogenes* 感染症例の臨床的特徴について検討した。

【方法】2002 年 7 月から 2012 年 7 月の 10 年間で当院で血液培養もしくは髄液培養から *Listeria monocytogenes* が検出された 9 症例のカルテレビューを行った。

【結果】10 年間で *Listeria monocytogenes* は血液培養 5 例、髄液培養 5 例から検出された。血液培養、髄液培養の両方で検出された症例は 1 症例のみ。年齢は生後 5 ヶ月から 89 歳まで分布していたが、平均値 60.3 歳、中央値 73 歳と高齢者に多い。基礎疾患として、肝硬変 1 例、担癌患者 2 例であった。初診時の症状は、発熱が 7 症例、意識障害が 3 例、下痢が 1 例に認められた。初診時細菌性髄膜炎を疑われたのは 6 例であった。チーズ、牛乳、生野菜など既知のリスクとして知られる食事歴は、カルテ記載では認めていない。

髄液培養陽性 5 症例の初診時髄液細胞数は $264/\text{mm}^3$ から $2560/\text{mm}^3$ と分布。

当院で抗菌薬治療を行った症例は 8 症例、全例生存した。治療期間は 7 日間 (1 例)、21 日間 (5 例)、28 日間 (1 例)、35 日間 (1 例) であった。治療薬はリステリアの感受性のある ampicillin もしくは ampicillin/sulbactam を初期治療から投与、もしくは菌種判明後に変更して治療した症例が 7 例であった。

水頭症及び症候性てんかんの後遺症が残った症例が 1 例、他 7 症例は後遺症無く治癒した。

【結論】当院で検出されたリステリア症例は高齢者に多く検出されている。菌種判明後に感受性のある ampicillin で治療した症例の予後は比較的良好であった。

細菌感染症患者の好中球内 *TREM-1* 遺伝子発現解析と sTREM-1 短鎖ペプチドが好中球に及ぼす影響

¹帝京大学 医学部 微生物学講座

○祖母井 庸之¹、永川 茂¹、上田 たかね¹、中野 竜一¹、菊地 弘敏¹、越尾 修¹、斧 康雄¹

【目的】細菌感染症の急性期では、過剰に活性化された好中球 (PMNs) により全身性炎症や臓器障害を来すことがある。こうした病態下における PMN 内の遺伝子発現変化については、未だ解明されていないことも少なくない。今回、免疫グロブリン・スーパーファミリーに属する制御性受容体遺伝子 *TREM-1* に着目し、感染症患者 PMN 内の遺伝子発現変化について解析した。更に、カスタム合成した可溶型 (s) *TREM-1* が健常者の PMN に及ぼす影響を遺伝子発現変化として定量解析した。【方法】肺炎 13 例 (軽症 7 例、中等症 3 例、重症 3 例)、敗血症 15 例 (重症 7 例、ショック 8 例) の合計 28 例の患者末梢血より分離した PMN 内の *TREM-1* 遺伝子発現解析を行った。また 50 アミノ酸の sTREM-1 短鎖ペプチドを合成し、正常なヒト PMN に及ぼす影響を *in vitro* で遺伝子発現変化として解析した。【結果】細菌感染症患者 PMN 内の *TREM-1* の遺伝子発現量は、健常者と比べた場合軽症肺炎で平均 1.1 倍、中等症肺炎 0.5 倍、重症肺炎 0.1 倍であった。敗血症患者 PMN 内の *TREM-1* 遺伝子発現量は、平均値で健常者の 0.3 倍を示した。人工合成した短鎖 sTREM-1 を正常な PMN に加えたところ、*TREM-1* 遺伝子発現が誘導され、添加量 0-100pg/ml の範囲で濃度依存的に増加していた。【考察】細菌感染症患者の血清中では sTREM-1 が増加することが知られているが、今回の解析で PMN における *TREM-1* の遺伝子発現量自体は健常人と比較した場合、重症例ほど著しく減少していることが明らかとなった。これより、*TREM-1* の遺伝子発現量の変化は、細菌感染症の病態を反映している可能性が示唆された。更に、合成した短鎖 sTREM-1 が正常な PMN 内の *TREM-1* 遺伝子発現を誘導したことから、細菌感染症患者の血中における sTREM-1 の増加は、病態や予後に深く影響していると思われる。